

プレスリリース

平成 26 年 10 月 24 日

独立行政法人国立科学博物館

ベルギー王立自然史博物館に保存されていた昭和天皇ご採集標本の 国立科学博物館への移管と標本受領式、パネル展示の開催について

ベルギー王立自然史博物館において、昭和天皇が相模湾でご採集のヒドロ虫類標本が発見され、その一部が研究用に国立科学博物館（館長：林 良博）に移管されることとなりました。これにあわせて、移管標本の受領式とパネル展示、講演会を開催します。

生物学者としても有名な昭和天皇は、各種海産動物や変形菌及び植物についてご研究をされ、動物学・植物学の発展にすぐれたご功績をあげられました。なかでも、海産動物であるヒドロ虫類^{*1}については、60 年をこえる長期にわたり、ご専門として研究されました。ご研究初期には、欧米のヒドロ虫類研究の専門家に標本を送って疑問点を解決されるなど研鑽を積まれました。この標本送付などには、皇居内生物学御研究所^{*2}の所長であった服部廣太郎博士が任にあたられていました。

先ごろ、ベルギー王立自然史博物館の標本庫において、服部博士からルル博士^{*3}に送られたヒドロ虫類標本が発見されました。これらの標本は液浸標本と、液浸標本から作製されたプレパラート標本で構成されており、その中にはルル博士が新種として発表した種の標本も含まれていました。これら標本（特に新種の標本）は、ベルギーと日本とで保管することが望ましいとのベルギー王立自然史博物館の考えにより、このたびプレパラート標本が、現在、昭和天皇ご研究標本類を所蔵している国立科学博物館に移管されることとなりました。

これらの標本は、学術的に貴重なものであるだけでなく、昭和天皇がヒドロ虫類ご研究を通して国際交流をされていたことの証としても貴重な資料といえます。このたび下記日程にて開催する 2014 科博 NEWS 展示「昭和天皇のヒドロ虫類ご研究を通じた国際交流 ―ルル博士に届けられた標本―」では、移管されるプレパラート標本とともに関連する標本資料を展示することにより、ルル博士との関係を中心に、昭和天皇のヒドロ虫類ご研究における国際交流についてご紹介します。

また、開催前日には、移管標本の受領式を行うとともに、展示についてのプレス内覧会を実施いたします。

*1: ヒドロ虫類とは、刺胞動物（クラゲやイソギンチャク、サンゴの仲間）です。

*2: 皇居内生物学御研究所は、1928 年に開設されました。昭和天皇は、ご公務の合間にヒドロ虫類をはじめ様々な動物の研究を続けられました。

*3: ルル博士（Dr. E. Leloup）は、ベルギー王立自然史博物館に所属のヒドロ虫類の専門家で、昭和天皇ご採集標本を研究し、新種を3種発表しました。

記

■ベルギー王立自然史博物館からの移管標本受領式・プレス内覧会

【日時】平成 26 年 11 月 10 日（月）15:30～17:00

【会場】国立科学博物館 上野本館 地球館 2 階 特別会議室

■2014 科博 NEWS 展示「昭和天皇のヒドロ虫類ご研究を通した国際交流 ー ルル博士に届けられた標本ー」

【開催期間】平成 26 年 11 月 11 日(火)～12 月 7 日(日)

【開催場所】国立科学博物館 上野本館 地球館 3 階 図書・情報室

【入館料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

(一般・大学生:620 円(団体 310 円)、高校生以下及び 65 歳以上無料※団体は 20 名以上)

【休館日】11 月 17 日(月)、25 日(火)、12 月 1 日(月)

【主催】独立行政法人 国立科学博物館

【協力】ベルギー王国大使館

【展示構成】移管されるプレパラート標本と関連する標本資料、パネルによる解説

■講演会「自然史標本を通した国際学術交流」

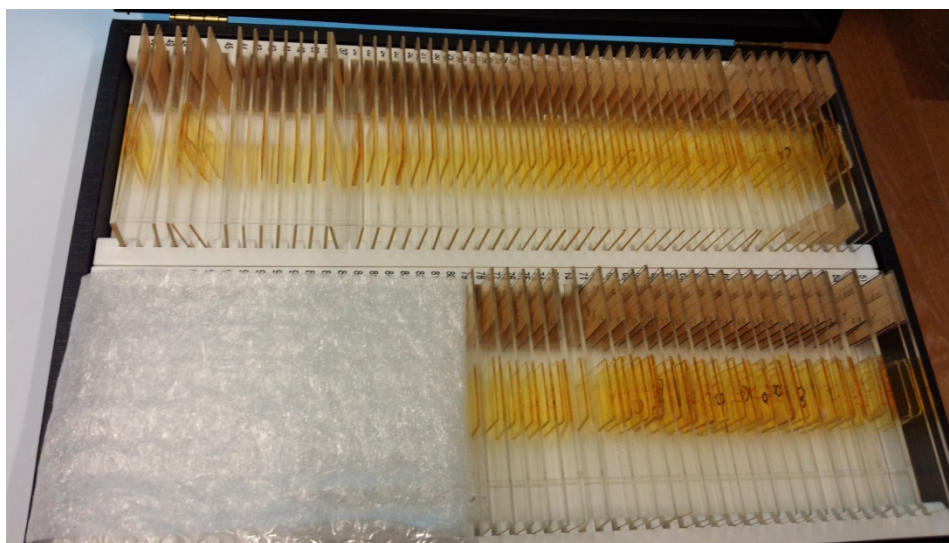
【日時】平成 26 年 11 月 22 日(土)13:00～15:00

【会場】国立科学博物館 上野本館 日本館 2 階 講堂

【定員】先着 100 名(当日受付)

【講師】馬渡駿介(北海道大学名誉教授)

並河 洋(国立科学博物館 動物研究部 研究主幹)



ベルギー王立自然史博物館に保存されていた昭和天皇ご採集ヒドロ虫類のプレパラート標本

本件についての問い合わせ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部 研究推進・管理課 研究活動広報担当:吉田聡宏

担当研究員:並河 洋(動物研究部 海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹
(兼)昭和記念筑波研究資料館 研究員)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8901 FAX:029-853-8998 Email:outreach@kahaku.go.jp

〈国立科学博物館ホームページ〉 <http://www.kahaku.go.jp/>

平成 26 年 10 月 24 日
独立行政法人 国立科学博物館

**ベルギー王立自然史博物館からの
移管標本受領式及び内覧会のお知らせ**
平成 26 年 11 月 10 日（月）15 時 30 分～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館は、下記のとおり移管標本受領式を実施します。併せて、受領式後に内覧会を実施いたします。

つきましては、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

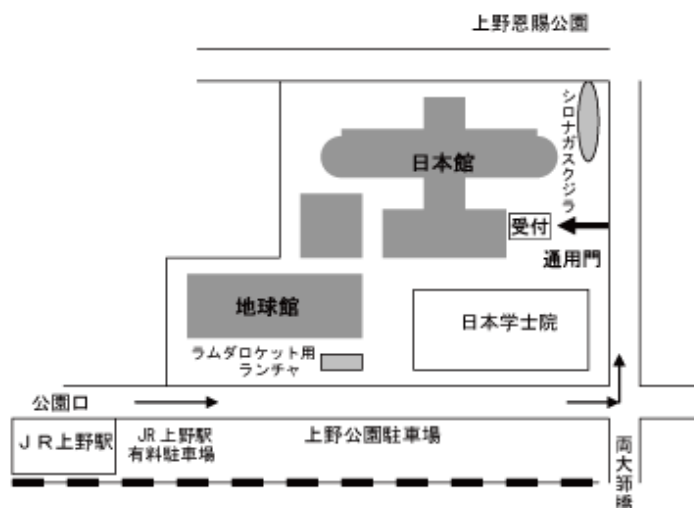
記

【日 時】平成 26 年 11 月 10 日（月）15 時 30 分～17 時 00 分（受付開始 15 時 00 分～）

【会 場】国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

【受付場所】国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。

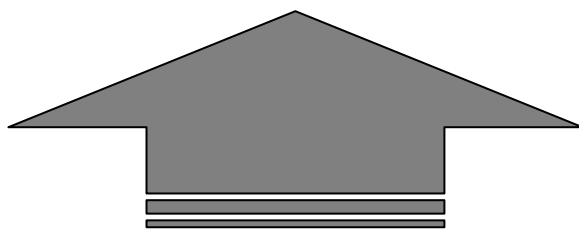


当日のスケジュール

- | | |
|-------------|---|
| 15:00～ | 受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください） |
| 15:30～17:00 | 移管標本受領式・プレス内覧会（会場：地球館 2 階特別会議室） |
| | ・ 受領式終了後、2014 科博 NEWS 展示「昭和天皇のヒドロ虫類ご研究を通じた国際交流 ー ルル博士に届けられた標本ー」の内覧会を、地球館 3 階図書・情報室にて行います。 |
| | ・ 展示室内の撮影が可能です。 |

参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて 11 月 4 日（火）までにお知らせください。

※事前にお申し込みいただかなくても、当日ご参加できますが、大まかな人数把握をさせていただきますたく存じますので、ご返信いただければ幸いです。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 2 9 — 8 5 3 — 8 9 9 8 >

移管標本受領式及び内覧会 参加票

(平成 26 年 11 月 10 日 (月) 15 時 30 分～17 時 00 分)

(受付 : 15 時 00 分～)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、事前に F A X にてご返信
いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所 : 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____

メールアドレス : _____

備考 _____



2014科博NEWS展示

昭和天皇のヒドロ虫類 ご研究を通じた国際交流

— ルル博士に届けられた標本 —

講演会 自然史標本を通じた国際学术交流

日時：2014年11月22日(土) 13:00～15:00

会場：上野本館 日本館2階 講堂 定員：先着100名(当日受付)

講師：馬渡 駿介 北海道大学名誉教授

並河 洋 国立科学博物館 動物研究部 海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹

2014年11月11日(火)～12月7日(日)

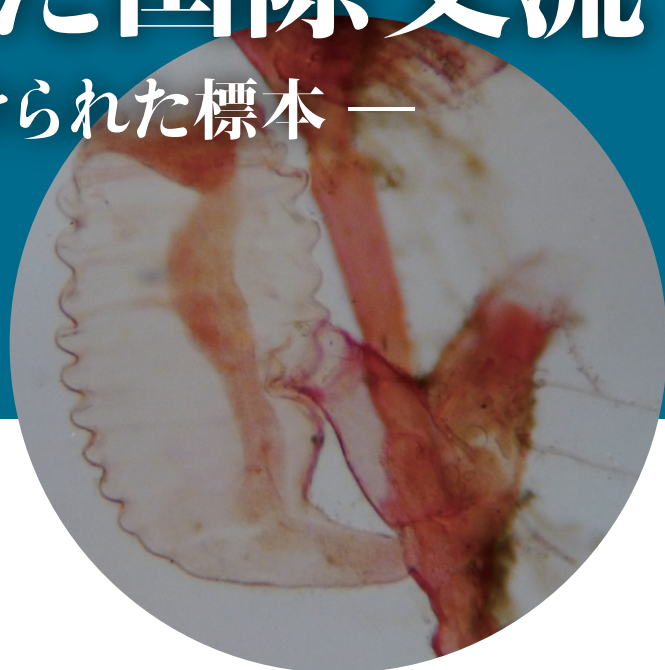
休館日：11月17日(月)・25日(火)、12月1日(月)

国立科学博物館 [東京・上野公園]

地球館3階 図書・情報室

開館時間：午前9時～午後5時 金曜日は午後8時まで *入館は閉館時刻の30分前まで
常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生 620円(団体310円) / 高校生以下および65歳以上無料 *団体は20名以上



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science



昭和天皇のヒドロ虫類ご研究を通じた国際交流

— ルル博士に届けられた標本 —

ベルギーで、昭和天皇ご採集のヒドロ虫類標本が発見され、その一部が国立科学博物館に移管されることとなりました。

昭和天皇のヒドロ虫類ご研究

昭和天皇は、昭和4年ごろから約60年間、ご公務の合間に、相模湾などでご採集のヒドロ虫という海産動物をご研究になられ、『相模湾産ヒドロ虫類』などのご著書を出版されました。

諸外国の研究者との国際交流

昭和天皇がご研究を始められた頃は日本に専門家がいなかったため、服部廣太郎博士*を介して諸外国のヒドロ虫類研究の専門家に標本を送られ、疑問点を解決されていました。依頼を受けた専門家は、標本研究の結果を報告するとともに、論文として発表しました。その中には新種の発見も含まれています。昭和天皇ご採集標本によりヒドロ虫類研究が進化したと言えるでしょう。

* 服部廣太郎博士(1875-1965)は、皇居内生物学御研究所の所長として、昭和天皇のご研究を支えました。

** ルル博士(Dr. Eugène Leloup 1902-1981)は、ベルギー王立自然史博物館において、ヒドロ虫類をはじめ海産無脊椎動物について分類学的研究を行いました。

ベルギー王立自然史博物館での標本の発見

最近、ベルギー王立自然史博物館で、70年以上前に服部博士からルル博士**に届けられたヒドロ虫類標本(液浸標本とプレパラート標本)が発見されました。昭和天皇ご研究標本は現在国立科学博物館に所蔵されていることから、今回発見の標本のうちプレパラート標本が当館に移管されることとなりました。

本News展示ではこの標本を中心に、昭和天皇がヒドロ虫類のご研究を通して国際交流をされた足跡を示す貴重な資料をご紹介します。



ルル博士が *Sertularia hattorii* Leloup, 1940 (ハットリウミカビ) を新種発表した時に研究したプレパラート標本

Sertularia hattorii Leloup, 1940 の液浸標本

この標本の一部がルル博士に送られました。

ラベルには *Tridentata hattorii* (Leloup, 1940) と記されています。



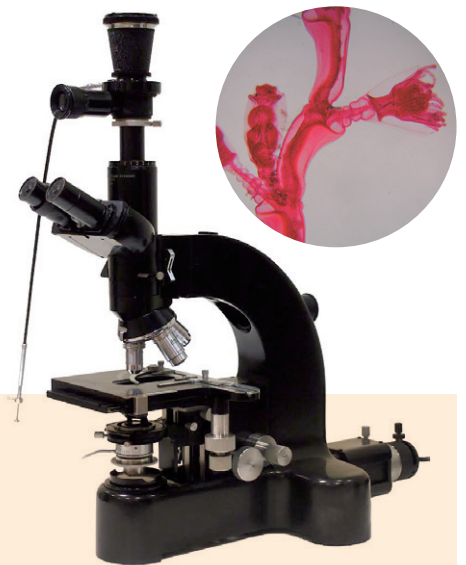
昭和天皇ご著書『相模湾産ヒドロ虫類』

● ヒドロ虫は、クラゲやイソギンチャクの仲間ですが、その姿かたちは植物のようです。また、生活の様子が複雑であり、大変興味深い動物です。

● ヒドロ虫類を詳しく研究するためには、液浸標本の一部を切り取ってカーミンなどで染色したプレパラート標本をつくり、顕微鏡で観察します。



岩礁に棲むヒドロ虫類オペリアの仲間



昭和天皇がヒドロ虫類ご研究で使われた顕微鏡



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science